

政策整理番号 15

評価シート(A) (政策評価:政策を構成する施策の評価)

対象年度	H18	作成部課室	経済商工観光部 新産業振興課	関係部課室	農林水産部 農業振興課
------	-----	-------	----------------	-------	-------------

A-1-1 政策と施策の関係・施策の体系

政策名	高度な産業技術の普及推進	政策番号	2 - 4 - 4
-----	--------------	------	-----------

政策概要 各種試験研究機関における研究成果や調査・収集した技術情報等について、地域に密着した普及活動を効果的に展開し、高度な産業技術を地域産業へすみやかに移転することを目指します。

施策番号	政策を構成する施策名	政策評価指標	達成度	社会経済情勢を示すデータの推移
	施策の概要			
1	普及活動を推進する専門的技術者の養成 農林水産業や工業に関する技術的な課題の解決や新たな技術導入などを支援する普及指導員などの指導水準、指導能力の向上を図ります。			
2	普及を推進する施設の整備 試験研究成果や新たに紹介された技術について、生産者や企業が実際に体験や試作ができる機能的な施設の整備を目指します。			
3	早く確実な技術移転 農林水産業、工業の生産者や企業が新技術の導入が容易に行えるよう、それぞれの分野の特徴に合った方法を工夫しながら、より速く確実な技術の移転を目指します。			
4	技術に関する情報の迅速な提供 生産者や企業が必要とする技術に関する多様な情報を迅速で的確に提供することを目指します。			
5	各産業分野の課題やニーズの適切な把握 農林水産業や工業の発展のために必要な技術を効率的・効果的に開発し着実に普及するため、それぞれの分野での課題や多様なニーズを速やかに正確に把握することを目指します。			
6	産学官連携による技術の普及 県、大学等の研究機関と地元企業など、産学官連携による技術の普及を目指します。特に、企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、県内の学術研究機関が連携し、技術相談・支援やものづくり開発を進める研究会などへの支援を行っています。	先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数	A	該当なし

政策評価指標の達成度:A(目標値を達成している)、B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している)
...(現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の詳細は各施策の「政策評価指標分析カード」を参照してください。

A-1 施策群設定の妥当性

適切

【評価の根拠】 各施策が政策の目的に沿っているか、社会情勢から見て必要か、重複や矛盾がないか
・1~6までの各施策は、試験研究機関や学術研究機関の高度な産業技術を地域産業へ普及・移転するという政策目的に沿っているものであり、特に重複や矛盾はない。

A-2 政策評価指標群の妥当性

政策評価指標については「政策評価指標分析カード」もご覧ください。

適切

【評価の根拠】 各政策評価指標は施策の有効性を評価する上で適切か
・政策評価指標(施策6のみ設定)は、市場ニーズを考慮した基盤技術を地域企業へ円滑に技術移転していくためには、産学における連携グループ(研究会等)が持続して増えていくことが必要であることから設定したものであり、適切である。

A - 3 施策の有効性 有効

施策番号	施策の有効性	【評価の根拠】 「政策評価指標の達成度」及び「社会経済情勢を示すデータの推移」から見て施策が有効か
1		
2		
3		
4		
5		
6	有効	・政策評価指標「先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数」は、高度化支援センターや協定参加学術研究機関による技術支援、技術交流会等を通じて向上し、目標を達成した。 施策が目指す方向に推移していることが判断できるので、施策は「有効」と判断する。
政策全体	有効	・政策評価指標「先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数」は、高度化支援センターや協定参加学術研究機関による技術支援、技術交流会等を通じて向上し、目標を達成した。 施策が目指す方向に推移していることが判断できるので、施策は「有効」と判断する。

A 政策評価(総括) 適切

【評価の根拠】	A-1, 2, 3を総括し政策を総合的に評価 ・政策評価指標「先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数」は、高度化支援センターや協定参加学術研究機関による技術支援、技術交流会等を通じて向上し、目標を達成した。 政策が目指す方向に推移していることが判断できるので、政策は「有効」と判断する。
【課題】	この政策(各施策)における今後の課題等を記載 ・「高度化センター」による技術支援や「みやぎ知的財産活用推進方策」に基づく知財活用支援について、今後より一層のPR・積極的な取組が必要である。